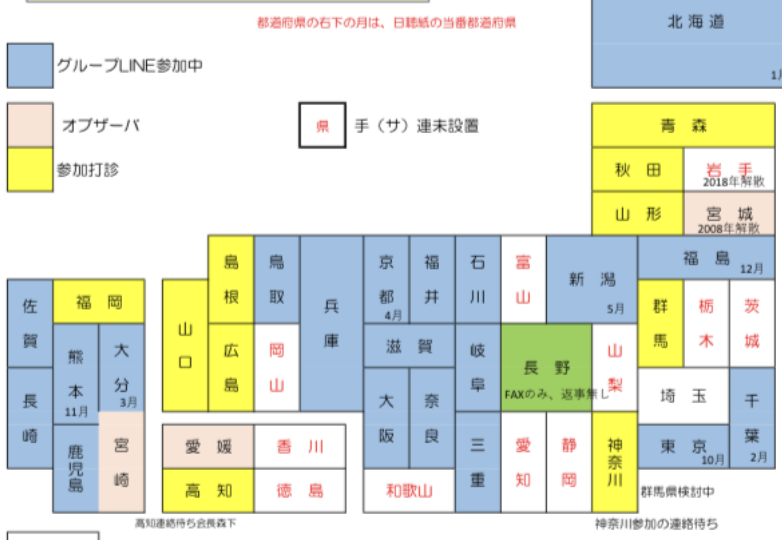




全国の手話サークル連絡協議会

全国手話サークル情報交換グループより



2023年になってから、ますます繋がりを増やしている全国情報交換グループ。1月15日時点で都道府県サ連との繋がりは20都道府県となりました。

ドラマや映画の追い風も受けて、どんどん手話の輪が広がっていく中で、各地の手話サークル事情も様々・・・どう活かせるかは未知だけど、これからも目が離せない！



日聴紙へのリレー投稿も進んでいます。2月は千葉県！楽しみ～

そんなグループに寄せられた情報提供の一コマ

写真家・文筆家として活躍する、ろう者の斎藤陽道さんの育児まんが日記『せかいほことば』が、アニメ化され『しゅわわん！』として3月末からEテレでの放映が決定しました！



↑NHK記事

<https://www.nhk.jp/g/blog/4zbxvpwqpipf/>



↑YouTube

また、福島県からは郡山市が2015年に手話言語条例を制定し、手話の理解・普及に務めてきた流れから、今年度発表された手話歌でつながろう「SDGsのうた」(YouTube)のURLが紹介されました。

<https://youtu.be/1f0BmWpXroM>



大切なろう運動の取り組みも参考になるけど、各地のいろんな情報を交換共有することで、手話サークル活動の活気につながるようなヒントになるといいね！

## サークル紹介

### 若葉の会

旭市手話サークル「若葉の会」をご紹介します。  
若葉の会は1994年4月に旭市で開催された手話講習会をきっかけに受講生が「若葉の会」を発足しました…という事は今年で30年になります。その間にもサークル存続が危機的状況に陥った時もありましたが、障害者支援について無我夢中で取り組んできたと自負しております。

さて、若葉の会が20年近く力をいれてきたイベントに地域の福祉祭りへの出店があります。新型コロナウイルスの影響によりここ3年間ほど開催が中止となっていますが、今回はこの福祉祭りに出店について皆さんにご紹介いたします。



きっかけとなった社会福祉法人ロザリオの聖母会ならびに旭市身体障害者福祉会が主催する「ロザリオまつり」に初出店したのは2005年の事でした。ここに地域の聴覚障害者協会と手話サークルを中心に活動していた「情報保障に関する委員会」として初参加しました。フリーマーケットと金魚すくいを出店し、売上金を委員会の活動資金にあてるのが目的でしたが、その後は若葉の会として出店し、サークル活動費、ろう重複障害者施設をつくる会(現後援会)へのカンパ、県サ連東総ブロックと共催でフリーマーケットを出店し、ブロック活動費や県サ連への寄付金などを目的としてきました。大きな変化があったのは2007年に食品を扱うようになってからで、そこからどんどんパワーアップしてきたと思います。

特集6号  
東総ブロック  
若葉の会  
の巻～♪



思えば、いろいろな食品を扱いました。うどんを基本として、フランクフルト、ジェラート、みたらし団子、わらび餅など、毎回楽しんで出店してきました。元料理人のサークル員を中心に、模擬店だからといってけっして手を抜く事はなく、うどん一杯200円の値段設定でありながら御出汁を取り、揚げ玉も地域の人気店から仕入れました。ジェラートは専門店から仕入れ、みたらし団子とわらび餅は京都から取り寄せるなど、低価格でありながら本格的な模擬店を目指しました。さて、今度は「ふわふわかき氷」で出店しよう！と計画していたところに新型コロナウイルス感染症が流行し、そこからロザリオまつりの中止が続いています。



力作の看板



着ぐるみは自前(笑)



イチオシメニュー!

2023年はロザリオまつりが復活するかどうか？まだ今現在分かりませんが、開催された時はサークル員の活気ある姿とお客様の笑顔に再会できることを心待ちにしております。その際は、皆さんもぜひ遊びに来てくださいね。

第4回役員会(1月22日@千葉聴覚障害者センター) 活動報告・学習会について・総会について他

県サ連ホームページ <http://www.kensaren.sakura.ne.jp/>

発行：千葉県手話サークル連絡協議会 責任者：外口晴久